

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 1・医学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 分析項目 II 教育成果の状況 観点 2-1 「学業の成果」 〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「観点 2-1 「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「観点 2-1 「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。」</p> <p>【理由】 1. 全国共用試験CBT成績の向上 観点 2-1 「学業の成果」の判断理由にて評価をいただいている「国家試験合格率」及び「卒業生アンケート結果」のほか、「学部・研究科等の現況調査表 教育」の医学部 1-11に記載のあるとおり①「全国共用試験において全国的に見ても高い成績を維持している」ほか、②「医歯学融合教育を含む新カリキュラム履修学生が受験した平成26年度、平成27年度のCBTのIRT標準スコア（能力値）が旧カリキュラム履修学生の平均値に比べて上昇しており、新カリキュラムの成果を得ている」。 前者①については、別添資料 1-Bの（2）にも示しているとおり、本学のIRT標準スコア平均値は平成22～27年度の何れも全国平</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 現況調査表等を総合的に勘案し、「期待される水準にある」と判定した。</p>

均を大きく上回り最高水準を維持しており、後者②についても新たに導入した新カリキュラムが学業成果の向上に繋がっていることを顕著に示している。

このこと及び「国家試験合格率」並びに「卒業生アンケート結果」も踏まえると、「医学部の目的・特徴」を勘案したとしても「期待される水準を上回る」と判断するため。

2. 質の向上度に係る評価（案）との関係

「学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（案）」の教育1-4において「分析項目Ⅱ 「教育成果の状況」における、質の向上の状況」として、「国家試験合格率」及び「就職先企業アンケート調査結果」並びに「Health Sciences Leadership Program (HSLP) に係る成果」を評価いただき、分析項目Ⅰの評価と併せて第1期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案のうえ、医学部の教育の質の向上度について「改善、向上している」と評価いただいている。

一方で、第1期中期目標期間の現況分析における医学部の学業の成果の評定は「期待される水準にある」とされており、上述のとおり第2期中期目標期間の現況分析において「分析項目Ⅱ 「教育成果の状況」に質の向上があると判断されていることから上記1と併せて「医学部の目的・特徴」を勘案したとしても「学業の成果」については「期待される水準を上回る」と判断するため。

※なお、上記により学業の成果について「期待される水準を上回る」と判定される場合には、それに伴い「分析項目Ⅱ 「教育成果の状況」全体の判定についても再度検討いただきたい。